

# YMCA 大阪青年




## 未来の子どもたちに～SDGs教育の推進

### 人類はどこに向かうのか？

ダン・シモンズ(米・SF作家)が、「ハイペリオン」(1989年)という小説の中で描く28世紀の世界は、人類はテラフォーミングの技術により、さまざまな惑星に進出し、各惑星間は、「転移ゲート」で、人や物が瞬時に移動します。また「テクノコア」と呼ばれるAI群による先端技術と未来予測に依存する社会になっています。その地球はというと、すでに核戦争、汚染により、人類が住めない「オールド・アース」と化していました。

英国の歴史家アーノルド・J・トインビー(1889-1975)は、「人類は母なる大地を殺すのか。それとも救うのか」と問い、広島平和文化センター元理事長のステイブン・リーパー(75)は、ウクライナ侵攻をめぐる米国とロシアの対立、中国の核戦力増強に、「平和が負けたようで、無力感を感じる。核兵器の問題を解決できなければ、人間の将来はない」と嘆息します。

### SDGsの達成を、大きく妨げる「戦争」

ロシアによるウクライナ侵攻は、国連で2015年にSDGsが採択され、初めて起きた「戦争」です。多数の人命が奪われ、多くの難民が生じています。貧困や格差、温暖化などの地球

規模の課題を解決する手立てとし、生まれたばかりのSDGsの達成が、今「戦争」によって大きく阻まれようとしています。

### 多様な文化の違いを認め合う～SDGs教育の重要性

新しい高等教育の形を模索し、超難関と言われるミネルバ大学は、2014年にベン・ネルソンという一企業マンが立ち上げ、ハーバード大学学長も参画し、学生の文化体験の圧倒的欠如に着目し、世界の7都市(サンフランシスコ、ソウル、インドのハイデラバードなど)を少人数で寮生活をしながら、現地で異文化体験を積みます。さまざまな紛争、戦争の要因は、それぞれの文化の違いから、互いを容認できない理由による衝突も多いと考えられます。私たちが多様な文化の違いを認め合うことが極めて重要です。

### YMCAのSDGsの取り組み

2021年から、大阪YMCAがYMCA阿南国際海洋センター(徳島)で始め、今年で3年目となる「SDGsジュニアリーダー養成キャンプ」。これは単なる新しいキャンプの形だけではありません。中・高校生たちが無人島の生活体験を通じ、日常生活や世界のことに思いを巡らし、多くの話し合いを重ね、そこで考え方の違

い、合意することの難しさ、その大切さを学びます。そして、SDGsを体験するフィールドとして、野々島は、何も無い島だからこそ無限の可能性を秘めています。特に周囲の海は、地球温暖化や気候変動の影響を受けやすい海の生物のことを学ぶには絶好の場所です。参加したメンバーは日常に戻っても、さらなる行動の変容が求められます。

互いの文化を認め合う素地は、6500万人のメンバーを抱える世界最大規模のNGOであるYMCAはすでに持っています。SDGsの推進は平和が鍵であり、SDGsの推進こそが平和の扉を開きます。私たちは、子どもたちに未来を残すために、SDGs教育の推進をいっそう図らなければなりません。地球が「オールド・アース」にならないために。



YMCA 総合研究所  
特別研究員  
公益財団法人大阪 YMCA  
評議員  
学校法人大阪 YMCA 学院  
理事・評議員  
なかむら しげたか  
**中村 茂高**

### ■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する動きをすすめます。
- 世界の人のびとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み、平和で公正な世界をめざします。

## ユース事業部(公益財団法人) ～見出した課題を自分事化するSDGsキャンプ～

YMCA阿南国際海洋センター スタッフ  
よしかわ あき  
吉川 亜希

YMCA阿南国際海洋センターが2021年度から実施しているSDGsキャンププロジェクトについてご紹介いたします。このプロジェクトは、自ら課題を見出し、それらを「自分事化<sup>\*</sup>」してとらえて、課題解決のために行動する力を身につけることをねらいとして、展開を広げています。

中高生を対象とした「SDGsジュニアリーダー養成キャンプ」は、2021年度のベーシックコースは環境圏を、2022年度は留学生たちと共に社会圏を中心として取り組みました。継続的かつアウトリーチできる行動変容を導き出すため、個人のアクションプランをブラッシュアップするキャンプです。参加者は本当に必要なものだけを無人島に持ち込み生活をする中で、普段の生活がいかにもモノにあふれた生活をしているのかを体感しました。また、「SDGsリーダーズキャンプ」は、学校教員や社会教育団体・野外教育団体・自治体の方々を対象として、東京大学海洋教育センター特任教授の田口康大氏の講義や地元の榑泊漁港の現役漁師の講話を通してSDGsを多面的にとらえ、新たな学びを深めるとともに、互いのアイデアや取り組みを共有しました。

豊かな海に囲まれたダイナミックな自然のなかで直接体験をすることで、遠くを感じる環境問題や社会問題に対して自分ができ

ることを見出し、日常生活で少しでも解決に至るように行動する力を養うSDGsキャンププロジェクトは、2023年度は経済圏を中心に取り組み、SDGsを学校や地域社会で推進するリーダーを育成するマスターコースを開催いたします。

※自分事化：当事者意識を持つという意味の表現



### 2023年度SDGsジュニアキャンププロジェクト予定

#### ●SDGsジュニアリーダー養成キャンプ

対象：中学生・高校生

日程：2023年8月19日(土)～22日(火) 3泊4日

#### ●SDGsリーダーズキャンプ

対象：一般社会人(学校教員、行政、社会教育担当者など)

日程：2023年8月1日(火)～4日(金) 3泊4日

阿南国際海洋センター  
HP



※申込方法等詳細情報は、今後、YMCA阿南国際海洋センターHPにて公開します。

## ユース事業部(学校法人) ～不登校支援 ほっとすてっぷSOUTH～

ほっとすてっぷSOUTH スタッフ  
むかいに あきら  
向谷 章

今年の3月、中学3年生6名が「ほっとすてっぷSOUTH」を卒業しました。大阪YMCAが尼崎市から委託を受けて不登校の子どもたちを支援する事業「ほっとすてっぷSOUTH」(尼崎市大島)は開設から2年が経ちましたが、子どもたちもスタッフもこれまでに色々な経験をすることができました。

現在のスタッフは4名で、大阪YMCAの表現・コミュニケーション学科(高等専修学校)やYMCA学院高校の卒業生などが中心です。中には不登校を経験しているスタッフもおり、彼らにとって子どもたちと過ごす時間はとても楽しく、考えさせられ、教えられる、子どもとスタッフが互いに成長する場となっています。スタッフ自身も次のステップを目指しながら子どもたちとともに日々を過ごしているのです。

現在、「ほっとすてっぷSOUTH」には、小学2年生から中学3年生までの19名が通っており、子どもの家族はもちろんのこと、子どもが通う学校の先生、カウンセラー、地域のボランティアの方々、そして地域の行政の方々いろいろな機会を通して子どもたちに関わってくれています。ほっとすてっぷは不登校支援の活動拠点の一つの「点」ではなく、その地域の大人たちの繋がりとともに支えられ

ていることも大きなことです。それらの環境の中で日々の交わりは、まるでYMCAキャンプのようだと私は感じています。YMCAのスタッフやボランティアから子どもたちに思いが引き継がれ、また次の世代にと引き継がれていきます。この流れこそYMCAの一番大切にしているものであることは確かです。



## 社会福祉事業部 東大阪市との協働による子育て世帯訪問支援事業

### ～ヤングケアラーとその家族への支援～

YMCAサンホーム 施設長 おおつか よしみ  
大塚 由実

社会福祉法人大阪YMCAが設置するYMCAサンホームは、東大阪市の高齢者支援施設の拠点として26年間歩んできました。この間に培った、地域ネットワークと経験・ノウハウ等を生かし、2022年度より、「子育て世帯訪問支援モデル事業」を東大阪市とともに実施しています。

この事業は、ヤングケアラーの健全な育ちのために、家庭内に障害、疾病、介護を要する家族、またひとり親といった家庭環境等も総合的に捉え、本来大人が担うと想定されるような家事や若い兄弟姉妹の世話など、年齢や成長度合いに見合わない責任を担っているヤングケアラーに対し、訪問支援員を派遣しています。訪問支援員

が家事や育児支援を行うことで、ヤングケアラーの負担を軽減し、青少年の時期に担保されるべき安心と安全な生活環境を整えることを目的とし支援しています。この支援をきっかけにヤングケアラー自身やその家族が安心し信頼できる人や支援者に繋がるよう、また、地域で支援が必要なヤングケアラーの早期に発見・把握するためのシステムを東大阪市とともに構築していきます。

今後、私たちは、ヤングケアラーへのピアサポート等をより進めながら、また大阪YMCAのリソースを活かして、多世代とのつながりを創ることのできる居場所づくりに発展させる将来展望を持っています。誰もが幸せに暮らせる地域社会を、東大阪市や地域諸団体との連携によって実現させたいと願っています。

## 総合研究所 ～YMCA総合研究所の取り組み～

YMCA総合研究所 副所長 しげのぶ なおと  
重信 直人

YMCA総合研究所は人的資産の開発研究(必要な人財を総合的に開発する)、事業シーズ研究(横断的、機能的に開発する)を目的に大阪YMCAがグローバルに行っている活動に関連した、調査、研究・事業開発、出版、政策提言などを行っています。

### 「大阪YMCA研究発表会」を行いました！

2月5日(日)、大阪YMCA会館を会場に会員、役員、教職員が集い、現在取り組んでいる調査・研究の中から5研究の発表がありました。各発表に対してレイパーソンの岩坂二規(ユースワーク)、田中淳(教育)、南出和余(国際)、山形浩一(企業)各氏よりYMCAの行っている活動が社会のニーズに込んでいるものであるという講評をいただきました。発表を通してYMCAの独自性とは何か、他団体が追随できないものは何かを共に考える機会となりました。発表内容と発表者は以下の通りです。

- ・YMCA学院高等学校におけるユースエンパワメントの実践
- ・SDGsキャンプの実践
- ・起立性調節障害児のオンラインによる症状改善プログラムスタディ
- ・Youth for Causes-ソーシャル・ビジネス・エデュケーションの価値
- ・フレームワークで捉えるYMCA全人教育と体験学習

YMCA学院高等学校 池田博人氏

YMCA阿南国際海洋センター 菅田育氏

ユース事業部 津田晃男氏

グローバル推進室 Dominic Pangrazio氏

六甲山YMCA 林健児郎氏



### 「大阪YMCA第1回Youth Pitch」を開催します！

次世代を担う若者が自らの考えや主張を表現する機会を設け、青少年の国際性と発信力、行動力の育成に寄与することを目的に、高校生を応募対象者とした「第1回大阪YMCA Youth Pitch ソーシャルイシュー アイデアコンテスト」を開催します。応募いただいたアイデアの中から事前に予選を行い、決勝で最優秀作品を決定いたします。

今回のテーマは、「自分や友達、家族を取り巻く社会課題や問題解決へのNew アイデア～自分の身近なことや好きなことから課題解決策を考える～」です。

決勝の日程：2023年6月18日(日)  
午後1時30分～午後4時00分  
場 所：大阪YMCA会館10階101号室  
(大阪市西区土佐堀1-5-6)

発表をご覧になりたい方は下記までお問合せください。  
E-mail：sigenobu-naoto@osakaymca.org (重信)

# 入職式・ウェルカム座談会報告

たみや よしひこ  
本部事務局 人事／採用 田宮 芳光

4月3日(月)、大阪YMCA入職式が行われました。(対面18名、オンライン24名参加)

配属先事業部、年齢、職制も違い、初めて会う人も多くいた新入スタッフでしたが、大阪YMCA国際専門学校の公原恵理子さんの司会のもと、最初に「YMCAを知ったきっかけ」をお互いにシェアすることで、すぐに和やかな雰囲気になりました。続いて、小川健一郎総主事から、YMCAに入職した当時の公私にわたる取り組みや悩みなどの話があり、会場は驚きと笑い声に包まれました。また子どもと関わる人が多いスタッフからの「子どもと関わる際に大切にしていることは?」という質問に対して、総主事からは、「子どもと同じ目線に立つこと」との答えが。さらに、これから社会人になる新入スタッフにとっては、仕事で疲れた時や落ち込んだ時の気分転換の方法も気になる。そんな話題には、総主事からは、散歩をしたり、料理をするなど具体的な方法が紹介され、新入スタッフは、真剣な眼差しで聞き入っていました。これから多様な事業所で働くことになる新入スタッフですが、同じ大阪YMCAの仲間の一員として、お互いに支え合い、共に歩んで欲しいと願っています。



## 会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2023年3月度報告(敬称略)

### 【新規会員】

大崎 愛深  
木曾 由梨香  
下藤 聖也

### 【継続会員】

足達 泰司  
天野 利男  
池上 正  
石井 種男  
石川 悟  
石津 雅人  
市田 恒夫  
伊藤 正尚  
井上 都志弘  
井上 陽子  
猪瀬 正雄  
岩坂 二規  
岩永 和子  
植下 五郎  
上田 乃生子  
宇都宮 垂穂  
大川 寧々  
奥野 孝昭  
加計 純子  
鍛冶田 雅弘  
稻谷 和彦

金岡 重雄  
神谷 尚孝  
川島 洋一  
川俣 茂  
工藤 義正  
小寺 規久子  
齋藤 中哉  
坂西 卓郎  
坂本 哲朗  
桜井 和之  
佐古 利子  
笹田 英生  
佐藤 祐規子  
清水 真一  
末岡 成夫  
菅 秀晃  
杉浦 眞喜子  
杉本 恵俊  
滝口 敏行  
武井 和子  
竹花 マリ子  
田中 八重子  
谷川 寛  
津野 忠昭  
富賀 理恵  
中島 みき  
長田 英子

中村 茂高  
中本 和子  
錦織 一郎  
二宮 聡  
長谷川 洋一  
島平 恵子  
原 寛  
板東 日菜香  
廣田 葉琴  
廣田 康人  
福島 文子  
藤井 道雄  
藤井 弥生  
藤好 基子  
本多 勝弘  
前田 貴史  
牧口 望  
松尾 博之

### 【継続賛助会員】

共栄社化学株式会社  
京王観光株式会社  
株式会社甲南保険センター  
朝陽電気株式会社  
株式会社西島製作所  
日東化成株式会社  
株式会社ワイサービス

丸尾 欽造  
ミツダ ベンジャミン  
南出 和余  
村上 徳光  
牟 大盛  
森 雅史  
森浦 隆之  
文字 文男  
保田 圭子  
八束 浩一  
山崎 憲  
山田 理學  
山本 直嗣  
山本 雅司  
吉岡 香代子  
吉田 全孝  
吉田 由美  
脇本 博

## インフォメーション

### 大阪YMCA創立記念礼拝のお知らせ

大阪YMCAは1882年6月4日に創立し、会員、ボランティア、メンバー、職員の皆さまとともに使命実現を目指して歩んでまいりました。創立の志に立ち返り、心新たに未来へと歩みを進めるため、下記の通り創立記念礼拝を開催いたします。皆さまと、祈りと希望を共有するひと時にしたいと願っております。参加方法などの詳細は、後日、大阪YMCAホームページ等でお知らせいたします。

日時：2023年6月3日(土) 10:00～

場所：大阪YMCA会館 2階ホール(大阪市西区土佐堀1-5-6)

奨励：川江 亜希子牧師(日本基督教団 浪花教会)

### VISION150進捗報告会

創立記念礼拝で、大阪YMCA創立150周年に向けて作成してきた「VISION150」の進捗報告会を行います。約1年半かけて進めてきた大阪YMCAの「VISION150」が間もなく完成します。「VISION150」が皆さんにとって親しみのあるものとなるよう願っています。掲げたVISIONを皆で実現し、よりよい社会を創りあげていきましょう。

報告会日程：2023年6月3日(土) 創立記念礼拝内

### 第349回 早天祈祷会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かち合う恵みの時としています。

日時：2023年5月19日(金) 7:30～8:30

証し：清水 幸一さん(四国学院大学社会福祉学部教授)

場所：大阪YMCA会館 10階チャペル(大阪市西区土佐堀1-5-6)

※朝食会を再開します。

※中止の場合は大阪YMCAホームページ「NEWS 新着情報」でお知らせいたします。



大阪YMCA 本部事務局 総務

TEL：06-6441-0894

E-mail：info@osakaymca.org

### 六甲山YMCA ワーク・デイキャンプのご案内

六甲山YMCAは新型コロナウイルス感染症拡大に伴って休館しておりましたが、キャンプ場としての営業再開に向けて最後の準備を進めております。焚火を囲みながら六甲山YMCAでの思い出や未来を語り、BBQも楽しみながら、これからの六甲山YMCAを創る、キャンプ場ワークと懇親のひととき「六甲ワーク・デイキャンプ」をおこないます。途中参加や部分参加、焚火を囲んで飲み物を飲んだりしながら、ワークを見守っていただくのも大歓迎です。ご家族、ご友人等をお誘いのうえ、ぜひ六甲山YMCAへお越しください。

日時：2023年5月27日(土) 9:00～17:00(時間内自由参加)

場所：六甲山YMCA(神戸市灘区六甲山町北六甲875)

参加費：500円

詳細のご確認、お申し込みはホームページからお願いします。



六甲ワーク・デイキャンプ

<https://osakaymca.or.jp/wellness/outdoor-training/rokko-workcamp.html>

大阪YMCA  
ホームページ



ボランティア  
スクエア

